ア　日本の海，世界の海
イ　海と食生活・文化・社会
ウ　海と環境
エ　海と生物
(2) 水産業と海洋関連産業のあらまし
ア　船と暮らし
イ　とる漁業・つくり育てる漁業と資源管理
ウ　水産物の流通と加工
エ　我が国の水産業と海洋関連産業
(3) 基礎実習
ア　水産・海洋生物の採集
イ　水産・海洋生物の飼育
ウ　水産物の加工
エ　海洋実習

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　水産や海洋について広く生徒の興味・関心や目的意識を高め，学習する意義を理解できるようにするとともに，学ぶ意欲を喚起するよう工夫して指導すること。
イ　人間生活における海の役割や重要性に着目するとともに，水産業や海洋関連産業における課題について，具体的な事例を基に，水産物及び船の活用と関連付けて考察するよう工夫して指導すること。
ウ　地域の水産業や海洋関連産業の見学及び実験・実習などの体験的な学習活動を通して課題を発見し，その解決に向けて主体的に計画したり，提案したりすることができるよう工夫して指導すること。
(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(1)のアについては，海と人間の古くからの関わりや偉人，文化，国際的な協調について扱うこと。イについては，我が国の魚食文化などを取り上げるとともに，海，水産物，船及び漁村と生活との関わりについて扱うこと。ウについては，海洋環境の概要を扱うこと。
イ　〔指導項目〕の(2)については，水産物の安定供給並びに付加価値向上の必要性について基礎的な内容に触れること。また，社会や産業全体の課題を解決するために，水産業や海洋関連産業が果たしている役割，働くことの社会的意義や役割，職業人に求められる倫理観についても扱うこと。

ウ　〔指導項目〕の(3)のエについては，操船や漕艇を中心に扱い，地域の実態や学科の特色に応じて，結索，体験乗船，海洋観測，水泳，マリンスポーツなどを扱うこと。

第２　課題研究

1　目　標

水産の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 水産や海洋の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
(2) 水産や海洋に関する課題を発見し，水産業や海洋関連産業に関わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2　内　容

１に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。
〔指導項目〕
(1) 調査，研究，実験
(2) 作品製作
(3) 産業現場等における実習
(4) 職業資格の取得

3　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　生徒の興味・関心，進路希望等に応じて，〔指導項目〕の(1)から(4)までの中から，個人又はグループで水産や海洋に関する適切な課題を設定し，主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して，専門的な知識，技術などの深化・総合化を図り，水産や海洋に関する課題の解決に取り組むことができるようにすること。なお，課題については，(1)から(4)までの２項目以上にまたがるものを設定することができること。
イ　課題研究の成果について発表する機会を設けるようにすること。

第３　総合実習

1　目　標